

行って、見て、学ぼう。

そしてやってみよう!!

Hiship!Project ■9th season■企画展

水辺の防災-はじめの一步編-

- 治水・防災施設の見学から、マイタイムラインの作成まで -

●日時 2021年12月1日(水) ▶ 2022年1月20日(木)
10:00~17:00 (12/29~1/3は休業)

●場所 川の駅はちけんや B1F

京阪電車/OsakaMetro谷町線 天満橋駅下車 17番出口より西へ約200m



本企画展のテーマは、「水辺の防災-はじめの一步編-」。
国内有数の治水・防災施設をもつ大阪ならではの、防災の取り組みを紹介するとともに、防災を自分ごと、つまり当事者意識をもって受け止めるための方策を深掘りしていきます。いつ起こるかもわからない災害に対して、一人ひとりができることは必ずあります。本企画展が、防災行動のはじめの一步になることを願っています。

展示のご紹介

01 国内有数の治水・防災施設の紹介と大阪ならではの取り組み

水害から大阪の街や人々の暮らしを守ってきた治水・防災施設を紹介するとともに、今後ますます増大するであろう災害に備え、あらたに作られる施設、更新される治水施設を紹介します。

02 動画でみる 治水事業のプロフェッショナルと行く、治水・防災施設の見学

11月6日(土)・7日(日)に行われた治水・防災施設の見学ツアーの様子を動画で紹介します。

03 1(ワン)、2(ツー)、3(スリー)で、防災も自分ごとに

STEP【1】知る ▶大阪で起こり得る風水害について学びます。
STEP【2】考える ▶クイズに答えながら、防災について考えます。
STEP【3】備える ▶「マイタイムライン」って知っていますか?

架空の人物、淀川花子さんと一緒に「もし自分だったら?」と考えながら、防災について学んでみましょう!

淀川花子です。
一緒に学びましょう。

04 水辺の魅力をもっと知って欲しい!!

災害時、水辺は危険な場所となり得ますが、平時の水辺は魅力溢れるスポットでいっぱい。その一部を紹介します。



川から陸から水辺から、手をふることはつながること

Hiship!Project

かつて物資や人を運ぶ航路として利用されてきた「琵琶湖・淀川流域」。現在も私たちの生活になくてはならない重要な役割を果たし、その恩恵を受ける人々は現在、約1,700万人といわれています。Hi ship! Project は、約1,700万人の人々と川との対話を通して水辺の「今」を伝えるプロジェクトです。「手をふる(Hi ship!)」というシンプルなコミュニケーションを通して、水辺の魅力や取り組みを発信し、川と人が織りなす物語を伝えていきます。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、急遽中止する場合があります。最新情報は、川の駅はちけんやのホームページ (<https://8ken-ya.osaka/>) をご覧ください。



新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて皆様をお願いしたいこと

- ① 人との間隔はできるだけ2m(最低1m)あける
- ② マスクの着用
- ③ 消毒液での手指の消毒
- ④ 大声での会話は行わない
- ⑤ 発熱や咳、咽頭痛などの症状がある場合は入場をお控えください